



PRESS RELEASE

株式会社バンダイ

2013年2月28日

バンダイこどもアンケートレポート Vol.208

「将来なりたいものに関する意識調査」結果

TOPIC①: 男子は「**スポーツ選手**」、女子は「**食べ物に関わる仕事**」が圧倒的に人気！

TOPIC②: **親は“安定”を最重要視！** 公務員や国家資格を有する仕事に回答が集中！

5人に1人の親が“安定”というキーワードを活用して、子どもの将来を語る！

総括: バンダイからの見解コメント

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、代表取締役社長:上野和典)は、3~15歳のお子様の保護者の方800人を対象に、4月からの新学期に先駆けて、「将来なりたいものに関する意識調査」を実施いたしました。調査結果を以下の通り発表いたします。

TOPIC①: 男子は「スポーツ選手」、女子は「食べ物に関わる仕事」が圧倒的に人気！

【子どもが将来なりたいもののランキング】

男子総合TOP10			女子総合TOP10		
1位	スポーツ選手	28.5%	1位	食べ物に関わる仕事	21.5%
2位	運転手	7.3%	2位	医師・看護師	13.8%
3位	医師・看護師	6.5%	3位	教師・保育士	11.5%
4位	食べ物に関わる仕事	6.0%	4位	芸能人	6.3%
5位	警察官	5.3%	5位	花屋	4.3%
6位	学者・研究者	4.8%	6位	イラストレーター・漫画家	3.8%
7位	消防・レスキュー	3.3%	7位	ファッション・美容	3.5%
8位	整備・製造	3.0%	8位	動物関連	3.3%
9位	教師・保育士	各2.8%	9位	スポーツ選手	3.0%
	大工・建築・工芸		10位	音楽家	2.8%
10位	芸能人	各2.3%			
	ゲーム関連				

子どもが将来なりたいものの第1位は、男子が「スポーツ選手」(28.5%)、女子が「食べ物に関わる仕事」(21.5%)となっており、男女それぞれの中で圧倒的な票を集める結果となりました。

男子の3割近くが「スポーツ選手」になる夢を抱いており、その内訳として「サッカー選手」が14.5%、「野球選手」が10.3%※と、2競技が多数を占める結果になりました。2014年にワールドカップを控えているサッカーが、開催目前のワールドベースボールクラシックの影響に左右されることなく、子どもたちにとって一番人気のスポーツになっていることがうかがえます。

女子総合の第1位である「食べ物に関わる仕事」(21.5%)は、その中の大多数の回答が、「ケーキ屋・パティシエなど」(15.5%)でした。3-6歳は「ケーキ屋さん」と表現していますが、年齢を重

ねるごとに「パティシエ」という表現の回答出現率が著しく高くなる傾向も見受けられました。

また、女子総合第2位・男子総合第3位と男女ともに上位にランクインした「医師・看護師」は、多くの子どもたちが「人の役に立ちたい」という理由を挙げており、混沌とした世相の中で、子どもたちの間にも社会貢献意識の高まりを見て取ることができます。

※「ソフトバンクの球団職員」と回答した男子13-15歳の1件も含んだ数値となっています

【子どもは何から影響を受けたかランキング】

男子総合TOP10			女子総合TOP10		
1位	テレビ番組(報道、バラエティー、スポーツなど)	28.0%	1位	実際に働いている人を見て	26.3%
2位	実際に働いている人を見て	22.0%	2位	テレビ番組(報道、バラエティー、スポーツなど)	14.5%
3位	父親	17.3%	3位	母親	14.0%
4位	芸能人・有名人	12.0%	4位	わからない	12.8%
5位	わからない	8.8%	5位	本(絵本、小説など)	各8.8%
6位	友達・知人	8.3%	5位	その他	
7位	ヒーロー・ヒロインが活躍するテレビ番組	7.8%	6位	友達・知人	8.3%
8位	本(絵本、小説など)	各7.0%	7位	マンガ	8.0%
	マンガ		8位	父親	7.8%
	その他		9位	芸能人・有名人	7.3%
9位	母親	6.8%	10位	ヒーロー・ヒロインが活躍するテレビ番組	6.8%
10位	ゲーム	6.3%			

また、子どもたちが将来なりたいものは、何から影響を受けたかの質問に対して、男子の約3人に1人が「テレビ番組(報道、バラエティー、スポーツなど)からの影響」と回答。サッカーや野球のテレビ中継などを観て、「スポーツ選手」への夢が芽生えるきっかけとなったことがうかがえます。

また、女子が影響を受けたものの第1位は、「実際に働いている人を見て」(26.3%)。「食べ物に関わる仕事」を志すきっかけの多くが、近所のケーキ屋さんやパン屋さんの仕事ぶりを目の当たりにして、影響を受けたことが見て取れます。将来なりたいもののランキングの第2位である「医師・看護師」や第3位の「教師・保育士」なども、身近な大人の仕事ぶりに触発される形で、それぞれが将来の夢を思い描いているのではないのでしょうか。加えて、男子は「父親」、女子は「母親」から影響を受けたという回答が第3位に入り、男子・女子ともにそれぞれ同性の親から大きな影響を受けていることがわかりました。

TOPIC②：親は“安定”を最重要視！公務員や国家資格を有する仕事に回答が集中！！
5人に1人の親が“安定”というキーワードを使い、子どもの将来を語る！

【親が子どもになってほしい職業ランキング】

男子総合TOP10			女子総合TOP10		
1位	公務員	16.0%	1位	公務員	14.8%
2位	会社員	13.0%	2位	薬剤師	10.5%
3位	スポーツ選手	10.8%	3位	教員(保育士含む)	9.0%
4位	エンジニア	8.3%	4位	会社員	8.5%
5位	医師	6.3%	5位	看護師	7.8%
6位	職人	4.8%	6位	職人	各5.8%
7位	医療・福祉関係	4.0%	6位	医師	
8位	消防士・レスキュー隊	3.8%	7位	医療・福祉関係	4.8%
9位	大学教授・学者・科学者	3.3%	8位	専業主婦・主夫	3.0%
10位	薬剤師	各2.3%	9位	芸能人・有名人(俳優・タレント・歌手など)	2.8%
	建築士・設計士		10位	スポーツ選手	1.3%

子どもたちがいろいろと将来の夢に想いを馳せる中、その親たちは自分の子どもにどんな職業になってほしいかを質問したところ、男子・女子の親ともに揃って第1位は「公務員」という結果となりました。その他にランクインしている職業についても、国家資格を有する仕事や“手に職”といった「エンジニア」や「職人」などに票が集中し、“夢”よりも“安定”を重視した結果となりました。また、その職業を選んだ理由を聞いたところ、自由回答でありながら、全体の5人に1人の親が“安定”という言葉を使って理由を回答。自由回答であることを考慮すると、非常に高い割合だと言えます。

一方、本ランキングには含めていない『その他』の回答にも票が集まりました。男子の親18.8%、女子の親21.5%が『その他』を選択しており、その中の大多数の理由が、「自分のやりたい仕事についてほしい」「やりたいことをやってほしい」「本人の意思に任せる」といった、子どもの“自主性を尊重”するという親の考えも見られました。

【バンダイからの見解コメント】

子どもの将来なりたいものの第1位が、男子『スポーツ選手』・女子『食べ物に関わる仕事』という結果を見て、時代が変遷し刻々と変わりゆく経済情勢の中でも、子どもたちの夢は、普遍的な存在なのではないかと感じました。今回の調査では、親たちの考えにこそ今の経済情勢がくっきり垣間見える結果になったと言えます。親がなってほしい職業として、国家資格を有する仕事や“手に職”といったエンジニアや職人などに票が集中するとともに、全体の5人に1人の親が“安定”という言葉を使ってその理由を回答していました。一方で、『その他』を選択する親も多数存在し、「自分のやりたい仕事についてほしい」「本人の意思に任せる」といった、子どもの“自主性を尊重”するという親の考えも見えました。親の気持ちとして、子どもの意志を尊重して応援したい想いと、“安定”した将来を望む想いとが、表裏一体をなす結果だったと言えます。

参考資料＜年代別【子どもが将来になりたいものランキング】＞

男子3-6歳TOP5		
1位	スポーツ選手	24.0%
2位	運転手	17.0%
3位	警察官	10.0%
4位	キャラクター	8.0%
5位	消防・レスキュー	7.0%

女子3-6歳TOP5		
1位	食べ物に関わる仕事	33.0%
2位	芸能人	12.0%
3位	花屋	8.0%
4位	キャラクター	7.0%
5位	スポーツ選手	6.0%

男子7-9歳TOP5		
1位	スポーツ選手	32.0%
2位	食べ物に関わる仕事	13.0%
3位	学者・研究者 警察官	各6.0%
4位	医師・看護師 芸能人	各4.0%
5位	運転手 消防・レスキュー 大工・建築・工芸 整備・製造 宇宙飛行士 航空関連	各3.0%

女子7-9歳TOP5		
1位	食べ物に関わる仕事	29.0%
2位	医師・看護師	11.0%
3位	教師・保育士	8.0%
4位	芸能人 花屋 音楽家	各6.0%
5位	デザイナー	各5.0%

男子10-12歳TOP5		
1位	スポーツ選手	36.0%
2位	医師・看護師 学者・研究者	各8.0%
3位	運転手 大工・建築・工芸	各4.0%
4位	教師・保育士 警察官 動物関連 イラストレーター・漫画家 ゲーム関連 公務員	各3.0%
5位	食べ物に関わる仕事 芸能人 整備・製造 会社員 経営者・自営業	各2.0%

女子10-12歳TOP5		
1位	医師・看護師 食べ物に関わる仕事	各20.0%
2位	教師・保育士	13.0%
3位	イラストレーター・漫画家 ファッション・美容 芸能人	各4.0%
4位	スポーツ選手 花屋 画家・芸術家 学者・研究者	各3.0%
5位	デザイナー マッサージ師 音楽家 家族と同じ 大工・建築・工芸 動物関連	各2.0%

男子13-15歳TOP5		
1位	スポーツ選手	22.0%
2位	医師・看護師	8.0%
3位	プログラマー・エンジニア	7.0%
4位	運転手 学者・研究者	各5.0%
5位	教師・保育士 大工・建築・工芸	各4.0%

女子13-15歳TOP5		
1位	教師・保育士	19.0%
2位	医師・看護師	18.0%
3位	イラストレーター・漫画家	7.0%
4位	動物関連	6.0%
5位	アナウンサー・声優 食べ物に関わる仕事 薬剤師	各4.0%

■ 調査概要

【 調査目的 】子どもが将来なりたいもの(職業)、また親が子どもになってほしい職業に関わる意識を調査する。

【 調査地域 】全国

【 対象者条件 】3～15 歳のお子様の保護者

【 調査手法 】インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)

【 実査期間 】2013 年 1 月 7 日(月)～1 月 9 日(水)

【 サンプル数 】800 人

【 構成 】

(全体)	3～6 歳	7～9 歳	10～12 歳	13～15 歳
男子	100 人	100 人	100 人	100 人
女子	100 人	100 人	100 人	100 人

こどもアンケートホームページ:<http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ:<http://www.bandai.co.jp/>